

ミナミアオカメムシに注意してください

ミナミアオカメムシは広食性で、水稻、大豆、野菜類（えだまめ、ナス等）を加害します。温暖な地域で越冬するので、本県においては越冬しないと考えられてきましたが、麦類ほ場において越冬したと考えられる成虫が確認されました。

5月中旬に岐阜・西濃地域の小麦ほ場13地点ですくい取り調査を行ったところ、7地点で成虫が確認され、中濃地域の関市でも確認されました（下図参照）。

加えて、6月上旬に収穫直後の小麦ほ場周囲の雑草地（イネ科優先）におけるすくい取り調査では、本幼虫が多数確認されています。

今後、水稻、大豆、野菜類のほ場における本虫の多発には十分注意してください。

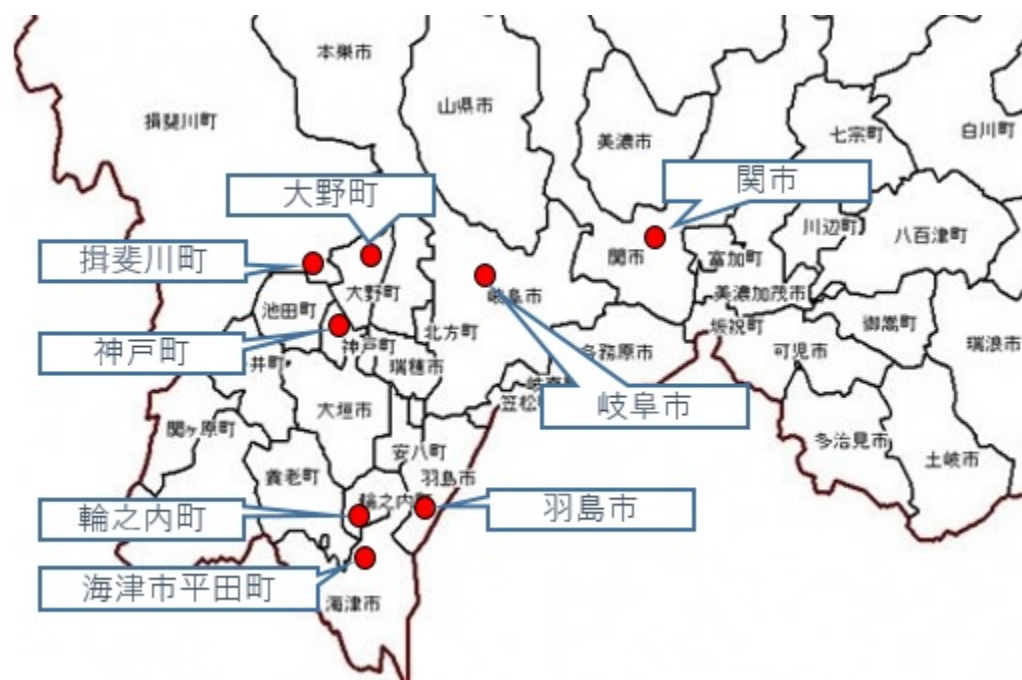


図 ミナミアオカメムシの発生が確認された地点（令和2年5月中旬、小麦ほ場）
※ 丸印はおおむねのほ場の位置を表す

- 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農林水産消費安全技術センター
http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm
- 当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>